

★株式会社ヒロハマ 千葉工場様 (缶パーツ製造、販売業) 従業員数：82名

利用コース～生産性向上支援訓練「現場社員のための組織行動力向上」
(令和元年5月25日、6月29日)

1. 訓練を利用した経緯・動機をお聞かせください。

社員教育は、毎年度外部研修や通信教育などを活用して行い、階層別では職長教育や幹部職研修を行ってききましたが、中堅層向け研修は行っておりませんでした。今回生産性訓練を活用した中堅層向け研修を行うに当たって各課の意見を集約したところ「組織力強化を学びたい」に関心が集中し、また、社員に職人的な面があるため、コミュニケーション不足や情報共有の仕方がうまくできない面があることが分かりました。

これらのことを踏まえ、機構からの提案内容(2. より)を受け、本コースの実施を具体化しました。訓練内容は組織マネジメント分野(12時間：2日間)を1コース行うこととし、対象は中堅層。場所は工場内の会議室とし、訓練日は平日利用で、業務との関係から1か月に1回実施としました。また、人材開発支援助成金を利用することとしました。

3. 訓練を利用した事業主様等の声・・・

社内でのコミュニケーション不足を各管理職者が感じていたところポリテクカレッジ様より生産性向上支援訓練のお話を戴き受講を決めました。ターゲットを30才以下の中堅層12名に絞り、組織での活動及びリーダーシップについて学ばせるために「現場社員のための組織行動力向上」というテーマを選びました。訓練を終えての上司の感想とすれば、日ごろあまり接触の無い者どうしがグループを組み、一つの事に対して協力して活動をする体験が出来たことで後の業務において互いに協力し合う様子が以前に増して見られる様になって良かった、普段あまりリーダーシップを取りそうでない者がディスカッションでリードしていたり、積極的に発言していたり等新しい一面を発見できた、等の声がありました。

今後は別の階層の社員に同様の講座を受講させ、共通認識を持って仕事に活かし生産性向上に寄与させたいと思います。



2. 機構からのご提案・・・

組織力強化の手始めとしてポリテクカレッジ成田校より「現場社員のための組織行動力向上」コースのご提案をしました。企業経営、企業組織と生産活動など心構え的な内容ですが、一番取り組みやすいコースであるをご紹介します。



株式会社ヒロハマ 千葉工場 外観

4. 訓練を利用した受講者様の声・・・

本講習の内容は、仕事には責任が求められることや組織人として行動する際に必要な意識と行動など一見当たり前のことばかりです。しかし、日々それを意識して働いているかと言われると自信がありません。今回の講習では社会人としての基本的な意識や行動を改めて勉強し直し、初心に戻ることができたと思います。

また、講習のグループディスカッションの中でそれぞれがどんなことを心掛けて仕事をしているのか、どんなことを苦手に思い働いているかがわかる場面もあり、今までの一方的だった相手への印象が自分の中で良い方向に変わっていくのを感じました。

工場の仕事は同じような毎日の繰り返しになり、常に能動的に高い意識を持って働き続けるというのは難しいと感じています。そのため、今回のような講習を他の先輩方にも受講していただき、社内の士気が高まっていけばいいと思いました。

製造課 女子・勤続7年目